

## 民間建築物バリアフリー化整備費の助成

平成18年度整備事例

### 【車いす使用者にも対応したエレベーターの設置による段差解消】

(セレモニーホール橋本)



建物(3階建て)の前面空地を利用して設置されたエレベーター(写真上)。

1階部分のエレベーターホール(写真下)。車いす使用者でも利用しやすい位置へのボタン配置や、視覚障害者のための点字、音声案内などの対応がされている。



エレベーター内には、車いす使用者でも円滑に利用できるよう、後方が確認できる鏡や手すりが設置されている(写真上)。

### 【出入口(敷地境)部分のスロープ化による段差解消】(地域包括支援センター高砂)

スロープ化する以前の出入口部分(写真下)。出入口部分には32cmの段差があり、円滑な通行を妨げていた。



スロープ化して傾斜が緩やかになり、車いす使用者でも容易に通行できるようになった出入口部分(写真上)。